



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年1月24日

上場会社名 株式会社東京會館

上場取引所 東

コード番号 9701 URL <http://www.kaikan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 訓章

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 蛸原 望

TEL 03-3215-2111

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	4,113	7.7	1,111		1,098		1,140	
29年3月期第3四半期	4,457	1.2	878		841		861	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	341.17	
29年3月期第3四半期	257.83	

(注) 当社は、平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	12,681	6,321	49.8
29年3月期	10,596	7,200	68.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 6,321百万円 29年3月期 7,200百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				10.00	10.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,400	8.2	1,460		1,500		100	29.6	29.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	3,463,943 株	29年3月期	3,463,943 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	122,477 株	29年3月期	122,302 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	3,341,520 株	29年3月期3Q	3,342,058 株

平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、世界経済の拡大を背景に輸出が牽引役となり、緩やかな拡大基調がみられました。

このような状況のもと当社は、建替えのため休館中の本館や東京銀行協会ビル建替えに伴い前事業年度に閉店した銀行倶楽部の既存のお客様を、浜松町東京會館や如水會館等の営業所へ最大限誘致するとともにケータリングサービスの拡充を図るなど、本館休館中の収益源となる営業所の営業力・集客力の強化に取り組んでまいりました。また、12月には新本館における婚礼宴会の受注のためウェディングサロンをオープンするなど、新本館の開業に向けた活動にも注力してまいりました。しかしながら、銀行倶楽部閉店による売上減少が大きく、当第3四半期累計期間の売上高は、前年同四半期比7.7%減少の4,113百万円となりました。経費面では、原価管理の徹底や経費の節減などの継続的なコスト管理を徹底するとともに、新本館開業に向けた人員の確保や開業諸施策の実行に係る費用などを計上しております。

以上の結果、営業損失は1,111百万円(前年同四半期は878百万円の営業損失)となりました。

経常損失は1,098百万円(前年同四半期は841百万円の経常損失)、四半期純損失は1,140百万円(前年同四半期は861百万円の四半期純損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前事業年度末比2,084百万円(19.7%)増加して、12,681百万円となりました。

流動資産は同262百万円(10.6%)減少の2,208百万円、固定資産は同2,347百万円(28.9%)増加の10,473百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、現金及び預金が688百万円減少し、売掛金が82百万円、有価証券が100百万円、「その他」に計上している仮払消費税等が109百万円それぞれ増加したことなどであり、固定資産のうち有形固定資産は、2,177百万円増加の7,088百万円となり、これは建設仮勘定が2,222百万円増加し、減価償却の実施により135百万円減少したことなどにより、投資その他の資産は、167百万円増加の3,378百万円となり、その主な要因は、投資有価証券が424百万円増加し、繰延税金資産が154百万円減少したことなどであり、

負債合計は、前事業年度末比2,964百万円(87.3%)増加して6,360百万円となりました。

流動負債は同1,397百万円(136.1%)増加の2,424百万円、固定負債は同1,566百万円(66.1%)増加の3,935百万円となりました。流動負債増加の主な要因は、短期借入金が1,320百万円増加したことなどであり、固定負債増加の主な要因は、長期借入金が1,680百万円増加したことなどであり、

純資産合計は、前事業年度末比879百万円(12.2%)減少して6,321百万円となりました。その要因は、配当の支払いを行い、四半期純損失を計上したことなどであり、

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、平成29年5月12日に発表いたしました業績予想に変更はございません。売上高5,400百万円、営業損失1,460百万円と見込み、建替資金調達のための本館敷地一部売却により売却益を計上し、当期純利益は100百万円を見込みます。

なお、今後業績予想に変更の必要が生じた場合には適切に開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,452,008	763,084
売掛金	373,352	455,838
有価証券	399,923	499,948
商品及び製品	16,027	19,860
仕掛品	9,607	7,272
原材料及び貯蔵品	70,207	85,035
その他	150,271	377,669
貸倒引当金	△349	△351
流動資産合計	2,471,048	2,208,359
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	338,503	322,539
機械装置及び運搬具(純額)	75,744	72,089
工具、器具及び備品(純額)	203,260	172,921
土地	2,744,219	2,743,095
リース資産(純額)	-	5,697
建設仮勘定	1,549,805	3,772,396
有形固定資産合計	4,911,533	7,088,740
無形固定資産		
リース資産	-	2,850
電話加入権	3,009	3,009
無形固定資産合計	3,009	5,859
投資その他の資産		
投資有価証券	1,626,062	2,051,059
繰延税金資産	377,244	222,335
その他	1,207,796	1,105,022
投資その他の資産合計	3,211,103	3,378,417
固定資産合計	8,125,646	10,473,018
資産合計	10,596,694	12,681,377

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	147,979	177,514
短期借入金	380,000	1,700,000
未払金	228,659	316,704
未払法人税等	65,742	16,524
賞与引当金	76,200	48,780
その他	128,366	164,780
流動負債合計	1,026,947	2,424,303
固定負債		
長期借入金	-	1,680,000
退職給付引当金	1,897,929	1,820,498
資産除去債務	74,768	71,765
その他	396,376	363,501
固定負債合計	2,369,074	3,935,765
負債合計	3,396,022	6,360,069
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,700,011	3,700,011
資本剰余金	2,883,140	2,883,140
利益剰余金	477,018	△696,436
自己株式	△438,639	△439,217
株主資本合計	6,621,530	5,447,498
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	579,141	873,809
評価・換算差額等合計	579,141	873,809
純資産合計	7,200,672	6,321,307
負債純資産合計	10,596,694	12,681,377

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	4,457,238	4,113,799
売上原価	4,065,041	3,862,722
売上総利益	392,196	251,076
販売費及び一般管理費	1,271,131	1,362,240
営業損失(△)	△878,934	△1,111,164
営業外収益		
受取利息	381	232
受取配当金	26,140	30,593
受取保険金	9,700	-
その他	8,158	8,658
営業外収益合計	44,380	39,484
営業外費用		
支払利息	4,095	7,650
コミットメントフィー	2,062	18,526
その他	954	888
営業外費用合計	7,112	27,065
経常損失(△)	△841,665	△1,098,745
特別利益		
投資有価証券売却益	1,917	-
特別利益合計	1,917	-
特別損失		
固定資産売却損	-	6,217
特別損失合計	-	6,217
税引前四半期純損失(△)	△839,748	△1,104,962
法人税、住民税及び事業税	9,907	10,215
法人税等調整額	12,022	24,860
法人税等合計	21,930	35,075
四半期純損失(△)	△861,678	△1,140,038

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

該当事項はありません。